



岡崎市 暮らしの相談担当者

原のりひこ
公式サイト



原のりひこ

担当者レポート No.9

発行日:2023年1月31日

発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:鬼頭 圭介

編集人:原 紀彦

印刷所:(株)トヨタエンタプライズ

組合員の皆さま、そのご家族の皆さま、謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も皆さんのお声を原動力にして、生活環境の改善活動に取り組んで参ります!本年もよろしくお願い申し上げます。

暮らしの相談担当者活動



令和4年度の活動は、主に評議会での活動報告、交通安全立哨、暮らしの相談 web トークを中心に進めてきました。岡崎在住の組合員さんの色々なご相談・ご要望の中で、特に道路に関するお声を多く頂き、改めてインフラ整備への課題を認識させていただきました。



稲熊町3丁目付近(伊賀川1号線)

【改善前】

右側の見晴らしが悪い信号のない交差点で、右側から来る歩行者が見えにくい。



【改善後】

①停止線を1Mほど手前に下げて、横断歩道を設置。②歩行者確認ミラーを設置。

歩行者との接触リスクを軽減

地域への貢献活動

住まわせて頂いている地域には、町内会活動、清掃活動、毎日の児童生徒たちの見守り活動を積極的に行い、恩返しに繋がるよう心掛けています。



岡崎市議会 12月定例会 一般質問に登壇!



詳細については、QRコードよりご確認ください。



「困窮者支援について」

Q. 食料が必要なお子さんのいるご家庭に、直接お届けするアウトリーチ型の活動「こども宅食」を岡崎市で初めて今年からスタートさせた団体がある。岡崎市の支援策は?

A. 備品などの購入費や事業運営にかかる経費の補助を実施していく。また、配布する食料品等については、市が受納した寄付物品を提供するほか、社会福祉協議会の「はぴりんバンク」からも提供を行っていく。

「地域住民による移動支援について」

Q. 高齢化が進む町内会で、バス停までの移動が困難な方や、免許証を返納して病院・買い物等への移動手段にお困りの方を対象としたボランティアカーの活動を開始した地域があるが、こういった取組をどう考えているか?

A. 高齢化が加速する中での移動手段確保の新しい仕組みとして、時速 20 ㎞未満で公道を走ることができる4人乗り以上の電気自動車を活用した、環境に優しい小型の移動サービス、グリーンスローモビリティがある。サービス活用の検討調査を受け入れて、グリーンスローモビリティの活用の可能性を探っていく。利便性の高い新たな移動手段モデルが提唱され、導入することで先進的な地域となり、岡崎市全域へ展開できることを大いに期待している。



主な補正予算の内容

○経済的支援策(クオカード支給)

75歳以上の高齢者、中学生までの子を養育する保護者、障がい者、難病患者等、高校生の年齢にあたる子を養育する保護者に対し、クオカードを支給。



【補正予算】
8億 2,246 万円

○出産・子育て応援(計 10 万円支給)

妊娠届を行った妊婦さんへ、出産育児関連用品の購入費助成のために5万円を支給。また、出生届を行った養育者へ、子育て支援サービスの利用負担軽減を図るために5万円を支給。



【補正予算】
3億 6,044 万円

○妊娠期~子育てまで一貫した伴走型相談支援

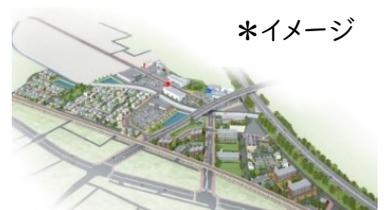
妊娠期や子育て期の家庭からの相談支援を拡充するため、専門職員によるオンライン相談の手法を新たに追加し、各家庭と容易に相談できる環境の準備を実施。(専門職員による面接・訪問・電話・オンラインでの相談が可能)



【補正予算】
176 万円

○本宿駅周辺地域の整備

アウトレット事業者と進めている道路整備に必要な用地取得に対して、協定に基づいた負担金の支払い。(用地取得:令和5年度、道路整備:令和5年度~令和7年度)



*イメージ

【補正予算】
9,746 万円